

HPSCでは、体力測定においても感染症対策の徹底を図っています。測定項目の特徴に応じて、留意すべき内容を検討し、対策を講じる必要があります。今回は、HPSCが実施している呼吸代謝測定での対策実施例を紹介します。内容の細部詳細な点については、各施設の状況や環境にあわせて適宜調整、工夫をしてください。

## 使用機器



### 呼吸代謝分析器

⇒ 蛇管を用いた「EXPモード」にて利用



## 注意すること

### 呼気・汗を浴びない工夫

- ⇒ ゴム手袋・マスク・ガウン・フェイスシールドを必ず着用する
- ⇒ 蛇管の先端を窓の外に出す  

### 換気の徹底

- ⇒ 窓の開放やサーキュレーターを使用して常に換気ができる状態を保つ
- ⇒ 十分な換気ができない部屋では実施しない

### 機器の使用・管理 <sup>72</sup>

- ⇒ 選手間で機器を使い回さない
- ⇒ 前回の使用から72時間以上経過した機器のみ使用する
- ⇒ 機器はすべて番号を付け、使用日を管理簿に記録する

### チェックリストの活用

- ⇒ 感染者が発覚した際に濃厚接触者を追跡できるように、選手ごとに測定者の行動内容を記録し、一定期間保管する

## 機器の配置

### 共通



フェイスシールド・マスク・ガウン・手袋を着用する



使用した物品は洗浄・乾燥後72時間以上保管



機器には管理番号を付け、使用日を管理簿に記入する



測定機器は選手毎にアルコール消毒を行う

### 自転車エルゴメータを用いた測定



窓を開放し、蛇管の先を外に向けて



窓の近くで実施する



グリップにはラップを巻き、選手毎に交換する



サーキュレーターを活用し換気を促進する

### トレッドミルを用いた測定



呼気は室外へ排出する



サーキュレーターを2台設置し、空気が滞留しないようにする